

令和2事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 2年4月 1日

至：令和 3年3月31日

国立大学法人静岡大学

令和2年度決算報告書

国立大学法人静岡大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,247	9,315	68	(注1)
施設整備費補助金	911	955	44	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	311	852	540	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	39	40	1	(注4)
自己収入	6,064	5,767	△ 296	
授業料及び入学金検定料収入	5,809	5,317	△ 491	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	255	450	194	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,806	1,749	△ 57	(注7)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	14	100	85	(注8)
計	18,394	18,781	386	
支出				
業務費	15,295	14,926	△ 369	
教育研究経費	15,295	14,926	△ 369	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	950	995	45	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	311	514	202	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,806	1,530	△ 275	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	30	29	0	(注13)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	18,394	17,996	△ 397	
収入－支出	-	784	784	

注：百万円未満の端数については、切捨て表示してあります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、年度中に退職手当等の追加配分があったため、決算額が68百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたため、予算額に比して決算額が44百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたため、決算額が540百万円多額となっています。なお補助金等収入の決算額には、授業料等減免費交付金が337百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階で予定していた額よりも多くの補助金を得られたため、決算額が1百万円多額となっています。
- (注5) 授業料及び入学金検定料収入については、授業料・入学金免除の実施や適正な定員管理に努めたことにより、予算額に比して決算額が491百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費補助金の間接経費の増などにより、決算額が194百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたものの、予算額に比して決算額が57百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、実施時期が未定であった新規事業の実施等により、決算額が85百万円多額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため旅費等の費用が減少したこと等により、決算額が決算額が369百万円少額となっています。
- (注10) (注2)及び(注4)に示した理由等により、決算額が45百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、決算額が202百万円多額となっています。
- (注12) (注7)に示した理由や事業繰越となったことにより、予算額に比して決算額が275百万円少額となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、予算額に利息額を計上していますが、決算額には教育研究経費へ計上しているため、予算額と決算額に差異が生じています。